



加藤 千穂 (かとう・ちほ)
宮城育ち。栃木の大学に進学し、就職。転職で横浜へ。
2020年1月より村田町地域おこし協力隊に着任。10年以上ぶりに宮城へリターン。
趣味はクラリネット♪

なぜ、村田へ？

20代最後の年、横浜にいた私は、突然、好む生活スタイルが変わり、「穏やかで丁寧な暮らし」を求めようになりました。これからどこでどんな生活をしていきたいかを考えた時、ここ(都会)じゃない、自然いっぱい地域へ移ろう！と思い、村田にやってくることに。

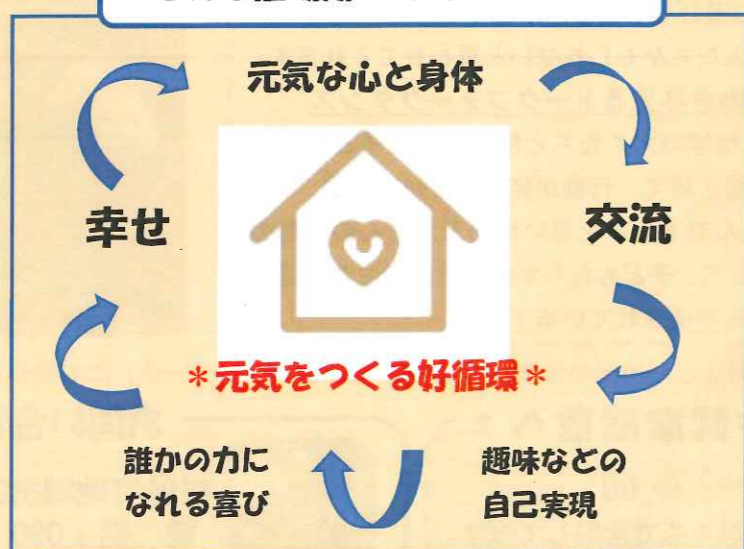
村田を選んだ理由

- ① 蔵王山が近くて自然豊かな地域
→ここなら穏やかで丁寧な暮らしができそうと思いました。
- ② 村田町の優れた発酵文化
→身体にいい食事に興味・関心が大きく変化していたことから魅力的に感じました。
- ③ 「和の文化」を感じることができる
→着物や茶道など昔から和の文化に興味・関心があり、村田の蔵の街並みはとても惹かれました。

私がやりたいこと(仕事)

小さな子どもからお年寄りまで**どの世代も**「孤立せず」、「楽しみ」や「生きがい」をもって暮らしていけるような地域づくりに携わっていきたくと思っています。
今は健康で、年齢もまだまだ若い。でも生きがいを持って楽しく生活できていますか？
また、20年後、介護が必要な状態になっていないと自信を持って言えますか？
私は介護保険を利用しないで済む、「心も身体も元気な地域の方々」を増やして行く取り組みが必要だと考えています。そのためには、下の図のような「元気をつくる好循環」を生み出す場があったらいいなと思い、その居場所づくりをしたくて村田にやってきました。

こんな居場所づくりがしたい



私の原点

なぜ、このようなことに興味をもったのか。その原点は学生の頃に出会った地域の商店街の方々にあります。当時、所属していたボランティアサークル「商店街の地域活性化のためのカフェ」で店長をしていた私はよく町内会のイベントやお祭りの会議に参加させていただいていました。参加する度に地域の方の熱い思いに感動し、みんなで作り上げるイベントやお祭りがとっても楽しかったこと、地域の方が生き生きとされていたことを今でも覚えています。社会福祉士を目指していた私は、大学卒業後は地域のために頑張る方のサポートをしていく仕事をしようと思い、これまで栃木、横浜で地域支援のコーディネーターとして仕事をしてきていました。行く先々で、素敵な地域の方々との出会い、よくしていただいた思い出がいずれは「地元宮城で」という思いをさらに強くし、この度、村田へやってくることになりました。

これまで、こんなことをしてきました！



【地域活動へ参加】



【はじめてくわの使い方を習う】



【田植え体験】



【じゃがいも植え体験】



【地域の運動サロン等へ参加】



【老人クラブにてクラリネット演奏を披露】

21 行政区長へヒアリング

地域包括支援センター(健康福祉課)、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと一緒に21行政区長へヒアリング訪問を行いました。それぞれの地区の特徴やできていること、困っていることなどをお伺いしてきました。



協議体のサポートメンバーとして

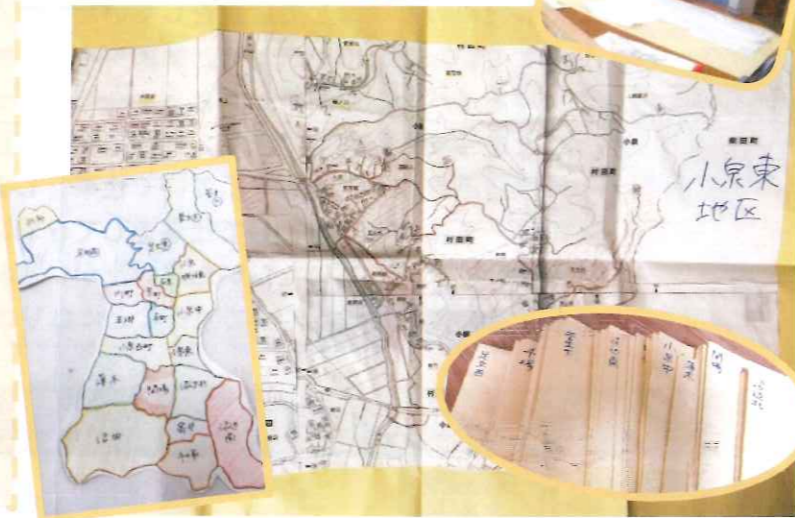
村田にあったらいいなと思うものを考え、実現に向けて検討していく会「生活支援体制整備事業(協議体)」。区長ヒアリングの結果をもとに、地域のみなさんと一緒に検討を重ねています。検討しやすいように事前準備やお話の整理などのサポート役として関わらせていただいています。



村田に来て初めて行ったのが街歩き。町をPRするためにはまずは自分自身が地域を知ろうと思い、どの地区にどんなものがあるのかを把握しようと思いました。しかし、どこからどこまでがどの地区なのかも分からず、苦戦。地区ごとに分かれている地図もなかったため、これは自分で作ろうと思い、住宅地図を繋ぎ合わせ、境目に悩みながら、行政区ごとの地図を作ってみました。

作成にあたっては地区の区長や多くの地域の方にご協力いただきました。いろんな情報も教えていただき、とても嬉しかったです。今後も聞き取りを重ねながら村田の地域をより深く知っていけたらと思っています。

21 行政区ごとの地図
つくりました!!



ブルーベリー摘み体験



毎朝、甘藷ラテ
飲んでます♪



【地域の方々からいただいたお野菜たち】

村田暮らしを満喫中!!

村田に移住してくる際、一番やりたかったのが丁寧な暮らし。自分の庭で収穫した野菜で料理をしたり、昔ながらの保存食づくりに時間をかけた生活をしたいとなりました。

村田に来てからはありがたいことによくお野菜をいただいたり、手作りのお裾分けをいただくことも多く、弟子入りしたいと思うこともたびたび。今はベランダ菜園からスタートしていますが、将来は自分の庭を持つことを夢みて日々練習中です。



ベランダ菜園

募集中

収穫体験させてくださる方、漬物など昔ながらの保存食づくりをご一緒させてくださる方、募集中です!! お声掛けいただければ、喜んでお手伝いにお伺いさせていただきます。村田ならではの体験にもどんどん挑戦していきたいと思っていますので、いろいろと教えていただけると嬉しいです♪

村田の魅力ある方へインタビュー活動を始めました。

「この町に住みたい」と思う一つのきっかけは「人」にあると思います。そのため、むらたの魅力ある人にインタビューを行い、広報する活動を始めています。また、「むらた暮らし」というホームページを作成し、村田のほどよい田舎暮らしの紹介とともに村田の魅力をPRする活動を行っています。

今、なにしてる?



muratakurashi



http://www.muratakurashi.com

～「むらたビトインタビュー」抜粋版～



村田の魅力ある方へインタビューする活動「むらたビトインタビュー」では、移住を検討するような比較的若い世代、子育て世代などに向けて、魅力とさせていただけるような内容を選択し、その様子を発信しています。毎回、インタビューに行く度に、私自身が魅了され、村田の魅力を発見し続けています。ホームページでは発信したい対象を絞り、提供していますが、今後はさまざまなジャンルでたくさんの方にお会いし、インタビューをさせていただきたいとも考えています。お声掛けさせていただいた際にはご協力いただけると嬉しいです。

むらたビトインタビューvol.1
有) 桜中味噌店 櫻中 辰則さん

「自らの背中で語る、地域の次世代育成」



* 次世代が安心して挑戦できる環境づくりの場

毎年、陶器市を開催しているNPO法人蔵わらし。現在、櫻中さんは思いを同じにした仲間と一緒に、若い世代に企画の検討を任せたり、挑戦する機会を提供しています。「何事も大人のすることに失敗ってなくて、失敗を失敗としてしまう人がいるからそうになってしまうだけ。」若い人たちに思い切って挑戦してもらうことの重要性を語ります。

* 次の夢は「子どもたちにさまざまな体験の機会の提供」

例えば、村田の子どもたちが外に出たとき、周りから「なんでろろなんてひけるの?」って驚かれ、村田の子どもたちはこう返す。「村田ではそれが普通だったよ」って。こういうのってなんかよくないですか?と笑顔で話される櫻中さん。そんな未来を夢見て、今、子どもたちに体験の機会を提供していくための検討を重ねています。

* 村田 GPS の活動を通して今の子どもたちにも遊び心を!

毎年、夏に開催する「むらた音頭大会」。水鉄砲バトルから始まり、かき氷早食い大会などいくつものイベントを掛け合わせた村田 GPS の一大イベント。今の子どもたちはギリギリセーフを知らない。安全第一、損得勘定で動いてしまう。でもやっぱりちょっとした遊び心がないとね、楽しくないからと話す、三浦さん。村田 GPS の大人たちは遊びにもいつも本気。大切な遊び心を取り戻すきっかけは本当の親じゃなくてこういう地域の大人たちかもしれないと思わせてくれます。

* 子どもたちに変化と感動を与えるトークフォークダンス

トークフォークダンスで地域の大人たちと触れ合った子どもたちは、前に進むきっかけや自信を得て、行動が変化していきます。昔、地域のおんちゃんたちに遊んでもらった思い出が三浦さんの活動の原点。この2つの活動を通して、子どもたちが楽しく生き生きと過ごしていけるようなきっかけを提供されています。

むらたビトインタビューvol.2

村田 GPS 元代表・東北トークフォークダンス協会会長
三浦 純さん

「子ども心を忘れない村田のピーターパン」



三浦さん

※今回ご紹介した内容の全文は「むらた暮らしホームページ」にて紹介しております。

毎週火曜日は武家屋敷へ

10:00~15:00

地域おこし協力隊2名で常駐しています。
お気軽に遊びにいらしてください。



お問い合わせ



村田町地域おこし協力隊 加藤
電話: 090-3980-7730
メール: c.kato331@gmail.com



加藤 千穂 (かとう・ちほ)

宮城育ち。栃木の大学に進学し、就職。転職で横浜へ。2020年1月より村田町地域おこし協力隊に着任。趣味はクラリネット♪

活動拠点場所：(株)まちづくり、村田町社会福祉協議会



地域レポート

10/23 (金)



「前千塚お茶っこサロン」スタート!!

千塚地区に、新たに「前千塚お茶っこサロン」が誕生しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、集まっておしゃべりする機会が激減したことから「身近に少しでも話せる場所があったらいいな♪」という地域の方の思いで始まった活動。初回は雨天にも関わらず、10名の方が参加され、新たな出会いがあったり、久々の再会を楽しむ様子などが見られました。どんなサロンになったらいいかな?と参加者からいろんなアイデアが出る場面もあってびっくり!地域にまた一つ、楽しみの場所が増えましたね♪

新たに民泊施設が OPEN!

蔵の町並みに新たに民泊施設「鶴屋」がオープンしました。大正10年の古民家をリフォーム。蔵の雰囲気と暖色の照明があたたかさを演出しています。また、2Fの客室の窓から見ることのできる蔵の風景は新鮮で、蔵好きの方や海外の方にも喜ばれるものの一つになるのではと願いました。特に夕暮れ時は綺麗でしたよ~!



民泊 鶴屋

村田町 蔵の町並みに OPEN!!

予約可能人数 5名程度
料金 6,000円(1泊) ※宿泊費以外
食・ドリンクサービスは別途お見積り

チェックイン : 16:00~18:00
チェックアウト : 翌朝 10~00

〒997-1303
〒997-1303 蔵の町並みに OPEN!!
TEL : 090-6852-0971
Email : www.tsuruya.jp

掲載内容の他にも、たくさんの方に会い、村田ならではの体験をする!をテーマに、いろんな場所にお邪魔させていただきました!

【2020年9~10月 活動の様子(一部)】



クラリネット演奏

みんなでマスクしながら星影のワルツなどをひっそりと歌いました♪

地域のおしゃべりサロンの一つ、「沼辺南サロン」月1回おしゃべりを中心に、たまに体操なども行っています。いつも笑いが絶えないこのサロンにお邪魔させていただくのが楽しみです♪



蔵の観光案内所 着付け体験

沼辺笑楽寿来の活動では初めての体験がたくさん!



毎回作業の合間に教えてくれる地域の方々に感謝です!

脱穀に挑戦! 感謝です!



現在、蔵の観光案内所では、着物の着付け体験ができます。9月までは浴衣の着付けを行っており、私も浴衣を着て蔵の町並みを散歩。風情ある街並みでこの体験ができるのはとても魅力的!ホームページやFacebookにてPIをさせていただきました☆彡

～「むらた暮らし」ホームページ抜粋版 vol.2～

「この町に住みたい」と思う一つのきっかけは「人」にあると思います。そのため、むらたの魅力ある人にインタビューを行い、広報する活動を始めています。また、「むらた暮らし」というホームページを作成し、村田のほどよい田舎暮らしの様子を紹介とともに村田の魅力をPRする活動を行っています。

なお、むらたビトインタビューでは、移住を検討するような比較的若い世代、子育て世代などに向けて、魅力と想っていただけのような内容を選択し、その様子を発信しています。



muratakurashi

<http://www.muratakurashi.com>



田舎暮らしの
様子紹介

移住体験談
先輩移住者の声

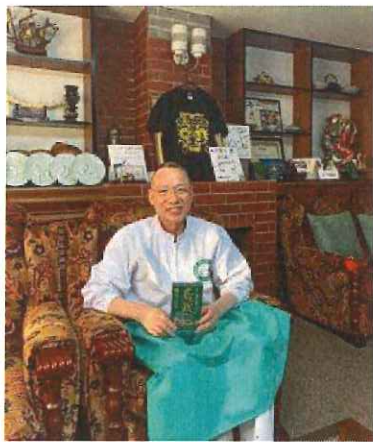
むらた散歩*
魅力発信ブログ

↑↑インタビューの他にもこんなコーナーも紹介中

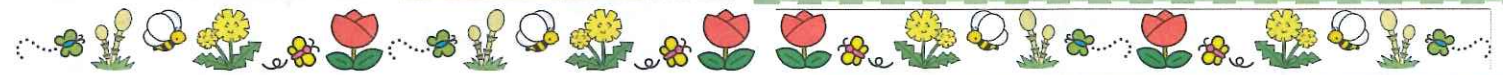
むらたビトインタビューvol.3

グリーンパール納豆本舗 代表取締役 大沼 賢治さん

常にワクワクと刺激を求め、村田に新しい風を吹かせる！



「日本国内で一生懸命頑張っても、一億人分の一人にしかかなれない。でも海外に行って面白いことをしたら価値ある日本人になるわけですよ。それだったら海外に行つて、日本人にしかできないことをやった方が価値があると思って。」と話す大沼さん。海外進出の理由には昔からの海外への強い興味・関心。また、「今でも毎日ワクワクしながらやっていますよ」という言葉は、大沼さんの人生を表している一言のように思います。今は仕事一本だけれど、ゆくゆくは納豆だけではなく、少林寺拳法や和食などを海外の方に伝えたいなって思って準備されているそう。この先の未来にもワクワクする予定を考えているところがさすがです。また新たな村田の魅力が誕生するのでは！？とワクワクさせられた時間でした。



先日、村田の民泊施設の一つ、「ちゃりだ一民泊 ろぼの」に見学に行ってきました。この民泊は、村田小学校の元校長先生である小山敦夫(おやまあつお)さんが退職後に、第二の人生として始めました。昔から自転車旅の趣味をお持ちだった小山さんは、「旅行先で見知らぬ方と一緒に寝泊まりし、意気投合する」、そんな楽しかった思い出があったそうです。自分自身も自転車旅をしている方々に気軽に立ち寄っていただけるような民泊施設を作りたいと思い、2020年1月にオープン。昨年の豪雨の際には、災害ボランティアの方に無料で宿泊提供されるなどあたたかい心を持っている小山さん。この民泊は宿泊だけではなく、貸出スペースとしての利用も可能とのこと、今後は地域の方にも気軽に利用していただきたいと話されていました。

むらた散歩*魅力発信ブログ

「ちゃりだ一民泊 ろぼの」へ
見学行ってきました！！



※今回ご紹介した内容の全文は「むらた暮らしホームページ」にて紹介しております。

毎週火曜日は武家屋敷へ

10:00~15:00

地域おこし協力隊2名で常駐しています。
お気軽に遊びにいらしてください。



お問い合わせ



村田町地域おこし協力隊 加藤
電話：090 - 3980 - 7730
メール：c.kato331@gmail.com



ガラス工房
キルロにて
吹きガラス
体験♪

加藤 千穂 (かとう・ちほ)
宮城育ち。栃木の大学に進学し、就職。転職で横浜へ。
2020年1月より村田町地域おこし協力隊に着任。
趣味はクラリネット♪
活動拠点場所：(株)まちづくり村田、社会福祉協議会



11/4 村田高校総合学習時間 (水)

村田高校の2年生を対象に、これまでにやってきたまちづくりや地域支援をテーマにして約2時間、お話する機会をいただきました。話した内容は①これまでに携わった地域活動やボランティアの紹介、②ボランティアの魅力、③新たな自分発見ワークの3部構成。せっかくなので、アンケートも実施し、感想の他にも、高校生が感じる村田の魅力を少しだけお伺いしてきました。

ボランティアの魅力を紹介するコーナーでは、実際の活動者の声を交えながら、ゴミ拾いだけがボランティアではなく、いろんな種類があり、得られるものがあることなどを紹介しました。また、ボランティアの魅力の一つとして「新たな自分を発見できる良さ」があり、実際に疑似体験として、高校生みんなで「自分発見ワーク」をしました。このワークは「自分がすでにできているものや好きなものが誰かのためになるかもしれないこと」、「自分の好きなもの、興味があるものを改めて知り、自分の感情と行動を大切にすることで後悔ない人生を送ってもらえるといいな」という2つのメッセージを込めて行いました。

ボランティアの魅力を知り発見してみよう！
「新たな自分発見ワーク」

今までで楽しかった体験

あなたの好きな体験！
わくわくできる体験！

今、やりたいことを3つ挙げてみよう！

得意なこと (好きなものもOK)

高校でできていること (得意なことなど)

高校でできていること、得意なこと、みんなが喜んでくれることは何ですか？

嬉しいことにボランティアのイメージが変化した学生は…約30名も!!



高校生が感じる村田の魅力

- 人が優しい
- 環境がいい
- 昔の面影がある
- 蔵の町
- 空気がきれい
- 自然豊か
- 穏やか
- 落ち着く
- 昔っぽい雰囲気
- 文化を大切にしている
- 味噌とそばめが有名
- 夏になるとキレイな緑になるのが好き
- なんにもないのが逆にいい時がある
- 町並みに歴史が感じられる
- とうもろこしがおいしい
- 緑がいっぱい



高校生の感想

* 講座を聞いてみて *

- ・ボランティアしている地域の人を凄と思った
- ・すでに自分ができていることで人の役に立つことができること知れた
- ・自分がやりたいと思うことをやっていいんだと思った
- ・自分が知るボランティアよりもはるかに超えていた
- ・ボランティアは楽しいし、学べることもある

* 新たな自分発見ワークをしてみても *

- ・意外と自分のことがわかってなくてびっくりした
- ・やりたいことができた
- ・自分のことがわかった
- ・楽しいこと、好きな時間が次々と出てきてびっくり
- ・難しかったけれど楽しかった
- ・ワクワクした

11/21
(土)

Kizuna～夢花火～

なんだか、遠い昔のような感じがしますが、みなさん、花火見れましたか？この日、一般社団法人さくら青年会議所主催で、柴田郡内で活動している商工会青年部や地域おこし協力隊が協力し、無観客で村田町内、大河原の2カ所で花火を打ち上げました。地域おこし協力隊2名も村田町内の道路に立ち、パトロールをしていました☆昔から悪役退散や復興に用いられてきた花火。少しでも気持ちが明るくなってきていただきたいと思います。



↑↑私は川崎町の協力隊と一緒にパトロールしました



翌日はみんなでゴミ拾い

～「むらた暮らし」ホームページ紹介～

「この町に住みたい」と思う一つのきっかけは「人」にあると思います。そのため、むらたの魅力ある人にインタビューを行い、広報する活動を始めています。また、「むらた暮らし」というホームページを作成し、村田のほどよい田舎暮らしの様子の紹介とともに、様々なジャンルで村田の魅力をPR！！

なお、むらたビトインタビューでは、移住を検討するような比較的若い世代、子育て世代などに向けて、魅力とさせていただけるような内容を選択し、その様子を発信しています。



muratakurashi

<http://www.muratakurashi.com>



田舎暮らしの様子紹介

移住体験談
先輩移住者の声

むらた散歩
魅力発信ブログ

↑↑インタビューの他にもこんなコーナーも紹介中

先輩移住者に「村田暮らしの魅力」を聞いてきました



自然農場 風天
中山建さん

車での交通の便の良さ、人の穏やかさ、生活の利便性、自然の豊かさ。自然の豊かさを謳う自治体は多いけれど、それ以外の要素が揃っている町となるとかなり限られる。特に人については、村田に来てから周りの方に本当に良くして頂いています。



寒風沢の家
海子さん夫妻

「寒風沢(かんふうざわ)」は風通しがいいところ。人も景色も。山奥というのもあって、寒風沢は一つの箱庭のようなイメージ。余白もあるから、自分次第でいろんな関わり方ができるし、自分でつくってける環境にある。クリエイティブになれるポテンシャルがある場所。



麵屋だいず
喜子さん、清貴さん

弟も私も村田で夢が見つかった♪食べ物もおいしいし、みんな自分のことのように心配してくれるのが都会にはない感覚☆彡

→今後も引き続き、先輩移住者に会いに行き、お話を聞きたいなと思っています♪

最近の
できごと

先日、生まれて初めてイノシシとご対面！大きすぎて一瞬、クマと間違えました(笑)



地域の方からしそ糰、ピーマン糰の作り方を教えてもらってチャレンジ！



久しぶりに白鳥や雪を見れてなんだかホッとしている毎日です♪

毎週火曜日は武家屋敷へ

10:00～15:00

地域おこし協力隊2名で常駐しています。お気軽に遊びにいらしてください。



お問い合わせ



村田町地域おこし協力隊 加藤

電話：090-3980-7730

メール：c.kato331@gmail.com

私を感じる「村田暮らしの充実感」

やっぱりみなさん丁寧な暮らしをしている！って気がついた時、嬉しくなりました。それからというもの、地域の方々からいろんな知恵を教えてください、自分自身も丁寧な暮らしの実践ができていることにとても幸せを感じ、生活しています。特に、菅生地区にお住まいの方は自分でお豆腐やみそをつくったり、自給自足の生活をしている方が多い！？苦戦していた高野豆腐づくりではアドバイスをいただき、ありがとうございました。今後も地域の方に教えていただきながら、保存食づくりに励んでまいります。そして、いずれはみなさんのように野草やお花を見たら名前や効能が分かるようになればいいな♪というちょっとした夢も持つようになりました。

やっぱり
丁寧な暮らし
していた



村田町地域おこし協力隊

かとちゃん新聞

Vol.4
2021年3月31日発行

ご報告

2020年1月に地域おこし協力隊として着任し、1年と3ヵ月。この度、村田町地域おこし協力隊を卒業することとなりました。
着任当初、私がやりたかったことは「居場所づくり」。
地域の方にとって、①気軽に立ち寄れる ②楽しみになるような趣味の発見がある ③自分の好きなこと・得意なことが生かせる ④新しい出会いがあり、人と交流ができる。そんなきっかけを提供ができる場（＝地域支援を行う場）を創りたいと思っていました。
現在もその想いややりたいことはなに一つ変わっていません。
ただ、これまではこのような場所がなかなかないからこそ、自分で理想の形を創ろうと思っていましたが、いろんな活動をしていく中で、今後もずっと地域支援をやり続けることができ、きっかけを提供できる場所との出会いがあったことから、この選択となりました。
新卒から組織が変わりながらもずっとやり続けてきた地域支援。村田町にすでにある組織で、地域のために活動していくことが、村田町の地域活性化により役に立つことができるのではないかと考えました。



加藤 千穂 (かとう・ちほ)
宮城育ち。栃木の大学に進学し、就職。転職で横浜へ。
2020年1月より村田町地域おこし協力隊に着任。
趣味はクラリネット♪
活動拠点場所：(株)まちづくり村田、社会福祉協議会

※「地域支援」とは・・・住み慣れた地域でずっと楽しく暮らしていけるようにサポートすること
具体的には、地域にすでにある活動のサポートやこれから新しくなにかを始めたいと思っている方の相談にのったり、立ち上げまでのサポート、地域に新たな楽しみや生きがいを生み出すきっかけづくりなどを行うもの

心躍る お気に入り スポット

農免道路、小泉の笠谷、寒風沢、菅生の道海前山、櫛引、足立蛇ヶ沢など

いつも大河原から繋がる農免道路を車で通ると「村田町に住んでよかった〜〜！」って思い、テンションが上がります。景色がそうさせるのかもしれないです。そのほかにも村田町にはこの景色が好き！と思える場所がたくさんあり、見る度に幸せを感じています。



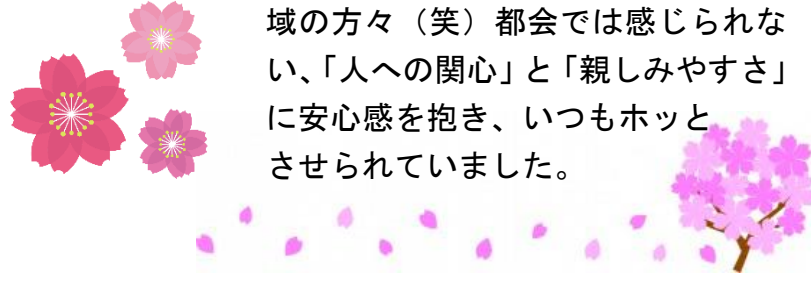
地域に出向く度に、かとちゃん新聞を見てくれている方が多いことにも嬉しくなっていました♪丁寧にファイルにとじてくださってる方も！本当にありがとうございます！！

～いただきもので料理に挑戦する日々～



他にはない 人への関心 親しみやすさ

コンビニの定員さんから「その財布いいね〜」、スーパーで「それ珍しいよね、おいしいの？」と声を掛けられたり、サロンなどにお邪魔すると、「どこに住んでるの？」「結婚してるの？」と名前よりも先に聞く地域の方々（笑）都会では感じられない、「人への関心」と「親しみやすさ」に安心感を抱き、いつもホッとさせられていました。



「かとちゃん」って気軽に声を掛けてもらえたり、地域活動にお邪魔させていただく際にもあたたかく受け入れてもらえているような感覚を感じられたことに、とても感謝しています。それが私の村田暮らしの充実感にも直結していました。そんな温かい地域だからこそ、引き続き、この地域の活性化に力を注ぎ、頑張っていきたいと思っています。今後も変わらずあたたかく見守っていただければ幸いです。

お問い合わせ



村田町地域おこし協力隊 加藤
メール:c.kato331@gmail.com

今後について

「今後はどこでなにをするの!？」

2021年4月からは、**村田町社会福祉協議会**の「生活支援コーディネーター」として、地域の方々が村田町で楽しく生活していけるような選択肢をたくさん生み出していけるような役割を担っていきたくと思っています。
まずは、社会福祉協議会の活動や地域の活動を見える形にすること、いろんな世代にとって立ち寄る機会になる企画やイベントを実施することを目標に活動していきます。

地域の方々へ

「協力隊の任期はいつまでなの？」と気にしてくださっていた地域の方々へ

ここ最近、地域の方から任期はいつまでなの？任期終了後は村田町から離れちゃうの？という声をいただいております。この新聞の裏面でもご紹介していますが、私は村田町での生活に充実感を感じています。
そのため、協力隊卒業後も**村田町に定住し続け、村田町の地域活性化のために尽力していきたい**と思っています。村田の一つの組織で働くことを選択することで、「**今後も村田ですと定住していく**」という強い決意が少しでもみなさんに伝わるといいなと思っています。



約1年の活動報告

1. 地域を知るための町歩き、行政区ごとの地図作成
地域にすでにあるものの把握
2. 地域活動取材（サロンや活動の見学、情報発信）
3. 生活支援体制整備事業
区長ヒアリング訪問、意見交換会運営サポート
4. 外部発信のためのホームページを作成
むらたビトインタビュー、先輩移住者インタビュー等
5. 活動報告新聞「かとちゃん新聞」の発行
テレビ電話で村田町の魅力紹介！→
6. 地域の後方サポート
民泊のホームページ、チラシ作成支援
サロン立ち上げサポート
7. 移住フェアで村田町の魅力を広報
8. ハロウィンイベントの実施
9. 村田高校ボランティア講座
10. 絆花火プロジェクトの実施
11. ボランティア連絡協議会研修会にて活動発表 などなど



ハロウィンイベントの様子



協力隊活動発表の様子
(ボランティア連絡協議会研修会)



移住フェア
テレビ電話で村田町の魅力紹介！→



協力隊活動発表の様子
(ボランティア連絡協議会研修会)

地域おこし協力隊として、始めた活動も継続していきます！

「むらた暮らし」ホームページ

村田町に住みたい！と思う人を増やすきっかけになればと、個人で立ち上げたホームページ。

今後も生活の様子や村田町の魅力ある人の紹介等の発信をしていきたいと思っています。

ホームページ閲覧者数 **1,258名**

(2020年7月～2021年2月まで)

ホームページ閲覧地域ランキング

1位:仙台、2位:横浜、3位:札幌、4位:大阪、5位:新宿 ※地域設定をしている方だけの統計です。

【暮らしの日々】

野菜をいじたり
田舎な体験の紹介など
日々の暮らしの様子

【村田グルメ】

村田町内の食べ歩きを
通して、お気に入りの
お店を紹介

【移住体験談】

・移住してよかったこと
・先輩移住者インタビュー

【村田から遊びへGO!】

・グルメ情報
・スポット情報



【むらたの魅力箱】

・むらたビトインタビュー
・むらた散歩
魅力発信ブログ

■むらたビトインタビュー
移住を検討するよう比較的若い世代、子育て世代に向けて魅力と想いを届けていきます。

■むらた散歩
地域活動に参加した様子、魅力的な活動、イベントの紹介

【かとちゃん新聞】

頻度や形態などは変わるかもしれませんが、引き続き、地域の情報発信、活動の様子紹介など継続して行っていけたらと思っています。



蔵×音楽



音楽をする人にとって店蔵はびっくりするくらい音の響きがいいというメリットがあります。ホームページでも蔵の響き比べの様子を紹介させていただいています。また、「蔵の雰囲気の中で音楽を楽しむ♪」、この体験を提供できるのは強み。



自分の世界を創れる環境

私が考える村田町の魅力

小泉の笠谷や寒風沢、菅生の道海前山、足立蛇ヶ沢などは、自分の世界を作りたいと思う方にとって、隣近所との間隔も広く、魅力的な土地。広い土地に、アトリエや農家などの仕事場と一緒に自宅も構える、それができる場所（土地）が多いことは大きな魅力になると思います。

村田町に住む人

子どもたちのために頑張る大人、居場所づくりに励んでいる方、丁寧な暮らしをされている方など、日々、村田に住んでいる人に魅力を感じています。特にユーモアあふれる方が多いのは魅力的☆

番外編



蔵×着物

浴衣や着物を着て、蔵の町で写真撮影をする。これほど魅力的な体験要素になるものはないと思っています。特に今流行りのインスタ映えスポットにもなる可能性も！



発酵食品

村田町へ初めて見学に訪れた際、いただいた甘酒のスムージーが忘れられないほど美味しかったことを今でも覚えています。味噌や糀、納豆など「一度味わったらもう他が食べられないと思ってしまう」、それだけおいしいと思えてなおかつ健康にいいものを提供できることは魅力だと思います。



スポーツランド SUGO

「スポーツランド SUGO」で初めて挑戦したナイトカートはとっても楽しくて身近にこんな場所があるなんて得した気分。村田を知らなくても車やバイク好きが大勢集まる可能性を秘めた場所があるのが魅力。

地域の方に「村田町で暮らしていてよかった」ということを聞きました！

- * 人間関係の良さ
- * 静かで良いところ
- * のんびり生活していること
- * 蔵王連邦が一望できる環境にあるところ
- * 人があたたかい
- * 山や海にすぐ行けるといいところ
- * 人と自然がいい！
- * 車を停めて眺めていたくなるようなところがある
- * 安定と安心がある町
- * ほっとする町
- * 空気がきれい
- * 思いやりのある町
- * 落ち着ける
- * 頼まれればなんとか力になりたいという人が多い
- * 季節感が豊かで都会との距離感がちょうどいい
- * 一度離れたとしてもずっと変わらない町



muratakurashi

http://www.muratakurashi.com

